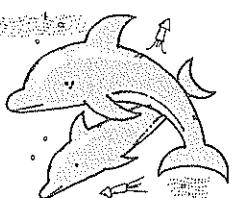


## ■普及所から④■

### 家庭菜園での

### ハクサイ作り



八月中旬を過ぎると、田中の気温もわずかずつ下がり、秋野菜の種まきの時期になってきます。

今回は、ハクサイ作りのポイントについてお知らせしますので、参考にして皆さんも栽培してみてください。

(1) 作る時期

○秋まき普通通り……八月中旬

まき十月下旬～十一月収穫

○秋まき遅どり……九月中旬ま

き一月～二月収穫

○特性……結球性のハクサイは、収穫までおおむね六十日。

生育の適温は初期で10度、

結球期で15～16度で、温度が高いと生育が衰え、結球も不十分で軟腐病が発生しやすくなります。

○土質、水はけなどの条件……短期間に盛んな成長をするので、土層が深く、排水が良好で保水性に富んだところが適地です。

連作すると、苦土やほう素が欠乏しやすく、軟腐病、白斑病、黒斑病等の発生が多くなります。

土壤酸度は弱酸性か微アルカリ性に適します。

(3) 作り方

○畑の準備……細かい数多くの根が深いところまで伸びるので有機物を入れ、深耕することが大切。

肥料(16-10-14)を10kg当たり一～二kgを全面に施し、二条植えで二三五cm、一条植えで七〇cm程度の畦をつくります。

株間はそれぞれ四〇～四五cmぐらいを用意とします。

○種の準備……細かい数多くの根が深いところまで伸びるので有機物を入れ、深耕することが大切。

は種予定期の七日前に化肥(16-10-14)を10kg当たり一～二kgを全面に施し、二条植えで二三五cm、一条植えで七〇cm程度の畦をつくります。

株間はそれぞれ四〇～四五cmぐらいを用意とします。

○特性……結球性のハクサイは、収穫までおおむね六十日。

生育の適温は初期で10度、

結球期で15～16度で、温度が高いと生育が衰え、結球も不十分で軟腐病が発生しやすくなります。

○土質、水はけなどの条件……短期間に盛んな成長をするので、土層が深く、排水が良好で保水性に富んだところが適地です。

連作すると、苦土やほう素が欠乏しやすく、軟腐病、白斑病、黒斑病等の発生が多くなります。

土壤酸度は弱酸性か微アルカリ性に適します。

○畑の準備……細かい数多くの根が深いところまで伸びるので有機物を入れ、深耕することが大切。

肥料(16-10-14)を10kg当たり一～二kgを全面に施し、二条植えで二三五cm、一条植えで七〇cm程度の畦をつくります。

株間はそれぞれ四〇～四五cmぐらいを用意とします。

### 新刊案内

#### 文書館だより

#### 新刊案内</

